

事業番号	08 03 15	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	木曽観光復興対策事業費			担当	部局	観光部	
				課・局・室	観光誘客課		
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト		E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-2 強みを生かした観光の振興 1 選ばれる観光地づくり		実施期間	H26 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 （カ）観光の振興					

1 事業の概要

目指す姿	・御嶽山噴火災害による影響で地域経済に深刻な影響が生じ、当面の営業も厳しい状況にある木曽地域において、観光業の下支え対策を緊急的に実施する。		
現状（予算編成時）	○回復対策 宿泊者の回復 平成28年木曽路地域の宿泊者数を平成25年宿泊者数(562,000人)まで回復。 ○振興対策 更なる宿泊者数の確保 平成28年木曽路地域の宿泊者数を平成25年宿泊者数(562,000人)以上に振興。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 深刻な被害を受けている木曽地域を支援するため。	
	県民との協働による実施： 実施中		
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) 木曽路地域の宿泊者数を平成25年宿泊者数(562,000人)以上にする。		
	② 事業内容 (単位:千円)		
	項目	実施方法	H28事業実績
			H28 (当初) H28 (決算) H29 (当初)
木曽観光復興対策協議会事業による木曽地域への誘客促進	負担金	県、市町村、観光関係団体で構成する「木曽観光復興対策協議会」でスキー場支援、地元PR活動等の観光振興対策を実施した。	0 50,000 40,000
	合計		0 50,000 40,000

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越		50,000		項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
	当初予算			40,000				目標	成果		達成状況
	補正予算	50,000			宿泊者数	514,000	463,000	562,000以上	477,000	未達成	-
	合計(A)	50,000	50,000	40,000							
	Aの財源	一般財源	20,000	20,000	40,000						
		県債									
		国庫支出金	30,000	30,000							
		その他	0	0	0						
	決算額(B)	0	50,000								
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00							
	概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914							
概算事業費(B(A)+C)	8,276	57,914	47,914								

目標に対する成果の状況	御嶽山の噴火警戒レベル2が継続しており山頂までの登山が出来ない状況であった。また、冬場の雪不足の影響によりスキー場の入込が減少したことにより目標の値に達しなかった。 南木曽町、大桑村、木祖村の比較的御嶽山から遠いエリアについては、噴火災害前の平成25年を上回ったが、御嶽山麓に位置する木曽町御嶽山、王滝村においては、それぞれ62%減、46%減と回復が遅れている。しかしながら木曽地域全体としては、対前年比3%増で、回復傾向にある。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 事務局を木曽観光連盟から地域振興局へ移管し、地域振興局が主体的に進める。
--------------------	---